

2019.6

第145号

目 次

1 ポートエッセイ

- 「G20」皮切りは農相会合

「スマート農業」に脚光 ―

~日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭~

2 トピック

●令和第1号登録!~釧路みなとオアシスが誕生しました~

(北海道開発局 港湾計画課)

●みなとオアシスもんべつ運営協議会が土木学会北海道支部地域活動賞を受賞!

(北海道開発局 港湾計画課)

●「いわて・大船渡港セミナー2019」開催

(大船渡市 企業立地港湾課)

●「みなとオアシスおおふなと」登録

(大船渡市 観光推進室)

●石巻にクルーズシーズン到来!!ダイヤモンド・プリンセスが2度目の来港

(石巻市 建設部 河川港湾課)

●「東京みなと祭」が開催されました!

(関東地方整備局 東京港湾事務所 特定離島港湾事務所)

●『新潟港 釣り文化振興促進モデル港』 指定証を交付しました

(北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課)

●『第37回 親子のフェスティバル』を開催しました

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

●「須磨ビーチフェスタ2019」 開催

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

●かわいい園児が神戸のみなどを見学

(近畿地方整備局 神戸港湾事務所)

●世界遺産のまち新宮(しんぐう)に「みなとオアシス」誕生

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

●「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会令和元年度総会」を開催

(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

●新たに下関港を「国際旅客船拠点形成港湾」に指定

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

●「オイローパ2」、「クリスタル・シンフォニー」が那覇港、石垣港に、「ダイヤモンド・プリンセス」が平良港に初寄港しました。

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

●平良港においてジャケット式岸壁の据付作業が行われました。

(沖縄総合事務局 平良港湾事務所)

- 3 お知らせ
  - ◇イベント名:海洋都市横浜うみ博2019 ~見て、触れて、感じる海と日本 PROJECT~
  - ◇イベント名:四日市港開港120周年記念 四日市港まつり

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

1 ポートエッセイ

— 「G2O」皮切りは農相会合

「スマート農業」に脚光 ―

~日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭~

〈大臣宣言に「生産性向上」を明記〉

日本では初めての開催となる G20サミットが今月末、大阪で開かれるが、その大臣会合の皮切りとなる農相会合が5月11、12の両日、私の暮らす新潟市で開かれた。農相会合の主役となったのは ICT(情報通信技術)や AI(人工知能)、ロボット技術などを駆使する「スマート農業」だった。会合で採択された「G20新潟農業大臣宣言」には、まず「増加する世界人口を養うために農業の生産性を上げることの重要性」が明記され、そのための手段として「ICT、AI、ロボット工学といった先端技術の活用を通じて農業のイノベーションを奨励する」ことが強調された。G20メンバー国は世界の農産物貿易額の約8割を占めるため、

今回の大臣会合を契機に世界でスマート農業が推進される契機となる可能性が高まった。

#### 〈無人田植え機やドローンを実演〉

会合2日目となる12日、新潟市南区の田んぼに嘆声とどよめきが広がった。田植え機やトラクターの無人走行デモンストレーションが行われた時だ。新潟市は、「大規模農業の改革拠点」として国家戦略特区に指定されて以来、産官学が連携してさまざまなスマート農業が実践されている。その実例として同区の農業法人「米八」で、G20農相会合メンバーの視察が行われ、運転席に人がいないまま田植え機やトラクターが走行し、さまざまな作業を行っていった。前方に置かれたマネキンを感知して緊急停止する機能も披露された。ドローンを使って稲の生育状況を空から撮影し、イモチ病などに的確に対処する仕組みなども説明された。G20の農相らは、日本で展開されているスマート農業の最前線を体験し、大いに興味をそそられたようだった。

#### 〈無人農業は既に実用段階〉

この日、使われた田植え機などは国立開発研究法人・農研機構が開発したもので、自動運転のほかにセンサで土壌の養分を測り、肥料を従来よりも2割程度削減する機能もついている。自動運転などのスマート農業は既に民間企業でも実用段階に入っており、2016年に同じ新潟市で開かれた「G7農相会合」では2社によりトラクターの無人走行が実演された。その中の1社、新潟クボタ(新潟市)の吉田至夫社長は「農業の無人化は実用段階に入っている。スマート技術で日本農業を再生させることは十分に可能だ」と語る。親会社のクボタは GPS(衛星利用測位システム)を活用した自動運転のトラクターとコンバインを既に実用化し、田植え機も2020年には発売予定だ。

#### 〈水田センサは全国販売へ〉

吉田社長が言うようにスマート農業はここ数年、目覚ましい進展を見せている。新潟市を例にとっても、まずは水田の水管理(見回り)に係る労力を軽減する水田センサが導入された。これは2015年5月に新潟市と連携協定を締結した NTT ドコモとベジタリア、ウォーターセル3社が開発したもので、2016年度はモニター農家から労力削減効果について評価を実施した。その結果、田んぼの見回り回数が最大で67%、平均で35%削減された。見回り確認時間の労力は最大で76%、平均でも43%減ること実証された。水田センサは同年度の総務省「ICT 地域活性化大賞優秀賞」を受賞した。この結果を受けて2017年度からは「次世代センサ」として市場に投入、全国販売を開始している。越後平野では大規模化が進んでも、集約化が追いつかず、数十へクタール規模を耕作する生産法人などは広いエリアの田んぼを見回る必要があり、水位をセンサで計測してスマホなどで確認するシステムは労力の軽減に大きな効果がある。

## <「農業だけが IT を使っていない」>

開発に加わった東大発のベンチャー企業「ベジタリア」の小池聡社長は、40代から米国シリコンバレーでベンチャーキャピタリストとして活躍した人物だ。50歳になってから「食と農」の分野にフィールドを移して、改めて気がついたことは「あらゆる産業が IT を使うのが当たり前になっているのに、農業だけが IT を使っていなかった」ことだった。いま、その農業も AI や IT を駆使した「スマート農業」の時代になっている。

## 〈「スマート港湾」は十分か〉

わが港湾分野はどうだろうか。日々、進化するIT や AI を駆使し、世界をリードする存在に日本はなっているだろうか。先月、新潟で開かれた日本港湾協会の総会には大勢の関係者からご参加いただき、感謝している。そこには多くの企業の顔も見える。港湾に関わる部分 IT や AI の活用を広く提案・実践いただく機運をそれぞれの地域で盛り上げ、その情報を全国で共有していきたい。

#### 2 トピック

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

●令和第1号登録!~釧路みなとオアシスが誕生しました~

(北海道開発局 港湾計画課)

令和元年5月1日に「釧路みなとオアシス」(釧路市)が令和第1号の「みなとオアシス」として登録されました。

5月15日には、クルーズ船「アザマラ・クエスト」をおもてなしするイベントに併せて、登録証交付式が開催され、市民や外国人クルーズ客らが見守る中、北海道開発局港湾空港部の眞田部長から設置者である釧路市へ「登録証」が交付されたほか、運営者である釧路みなとオアシス協議会へ「のぼり」が贈呈されました。

交付式の最後には、釧路市観光大使の「ヒートボイス」(フォークデュオ)が、ミニコンサートを開催し、クルーズ船おもてなしソングなどを披露。式に"華"を添えたほか、釧路港耐震・旅客船ターミナルでは、クルーズ船のお見送りがなされるなど、多くの人で賑わいました。

「釧路みなとオアシス」は、「釧路フィッシャーマンズワーフ MOO&EGG」などが構成施設として登録されており、今後、情報発信や新たなイベントの開催、地域の交流や観光振興の拠点として、更なる賑わいをもたらし、地元に末永く親しまれる「みなとオアシス」となることが期待されます。



登録証交付



のぼり贈呈



ヒートボイス ミニコンサート



アザマラ・クエストお見送り

#### ●みなとオアシスもんべつ運営協議会が土木学会北海道支部地域活動賞を受賞!

(北海道開発局 港湾計画課)

(公社)土木学会北海道支部では、「北海道内において、土木技術や土木構造物を通じて地域や北海道の発展に貢献したと認められる団体等」に対して、毎年、表彰を実施しており、この度、「みなとオアシスもんべつ運営協議会」が平成30年度土木学会北海道支部地域活動賞を受賞し、5月9日に土木学会北海道支部総会(札幌市内)において表彰されました。

同協議会は、みなとオアシスもんべつの運営者として、みなとの土木施設を利用した「ウォーターフロントフェスティバル」、「紋別港みなと見学会」など様々なイベントを企画するとともに、冬季の観光資源である流氷を活かしながら「オホーツクタワー」や「クリオネプロムナード」にイルミネーションを灯す点灯式を開催するなど、1年を通じて「みなと」を核とした活動を行い、土木構造物を通じて地域の発展や貢献に寄与しています。



水島支部長から協議会代表の竹内氏へ記念の盾 を授与



イルミネーション点灯式

## ●「いわて・大船渡港セミナー2019」開催

(大船渡市 企業立地港湾課)

大船渡港物流強化促進協議会は、令和元年5月28日(火)東京都内において、「いわて・大船渡港セミナー2019」を開催しました。

戸田公明大船渡市長によるプレゼンテーションでは、東日本大震災からの復興まちづくりや被災跡地 の利活用について説明を行いました。

大船渡港の紹介においては、岩手県内トップの水揚げを誇る漁港として、セメント関連貨物等を取り扱う工業港及び、県内最大級の海上貨物の取り扱いやクルーズ客船が入港する商港として、バランス良く利活用されているほか、コンテナ用上屋倉庫などの港湾施設や県内陸部の工業団地とを結ぶ道路の整備が着実に進んでいることなどを説明し、大船渡港の利用促進を呼びかけました。

また、北上山地への誘致が期待される国際リニアコライダー(ILC)については、大船渡港が建設候補地に最も近い重要港湾であり、岸壁の隣接地に工業用地を有していることなどから、研究機器など資機材の荷揚げ港、物流拠点として大きな可能性があることをアピールしました。

本セミナーには、約160名の参加があり、大船渡港を利用した物流に対する関心の高さがうかがえました。



プレゼンテーションの様子(大船渡市長)

#### ●「みなとオアシスおおふなと」登録

(大船渡市 観光推進室)

当市では、まちづくりと海との関連性の向上により賑わいのある「みなとまち大船渡」ブランドを強化し、 地域住民との交流及び観光振興により地域活性化を促進することを目的として、平成31年2月「みなとオ アシスおおふなと運営協議会」を設立し、みなとオアシスの登録へ向けた活動を行ってまいりました。

令和元年5月18日、「みなとオアシスおおふなと」として登録され、当日は、客船入港歓迎行事と併せて、登録証授与式を開催し、多くの市民や客船の乗船客の方々にお祝いをしていただきました。

「みなとオアシスおおふなと」は、観光情報の提供や防災学習などの場である「おおふなぽーと」を代表施設とし、来客をおもてなしする「中心市街地エリア」、海を眺める緑豊かな憩いの空間としての「夢海(ゆめみ)公園」、客船を迎え入れる「野々田ふ頭」などの施設で構成されています。今後は、みなとオアシスへの登録を契機に、「クルーズ客船歓迎行事」や「三陸・大船渡夏まつり」のような既存事業の充実を図りつつ、当市の「食」や「観光」に関する魅力・特色を積極的に情報発信し、「みなと」と「まち」が近い大船渡の特性を活かしながら、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを進めてまいりたいと考えております。



登録証授与式 記念撮影

## ●石巻にクルーズシーズン到来!!ダイヤモンド・プリンセスが2度目の来港

(石巻市 建設部 河川港湾課)

石巻港のクルーズシーズンが幕を開け、昨年9月以来2度目となる「ダイヤモンド・プリンセス」が入港しました。市内中心部の商店街では、店先にお揃いのウェルカムフラッグを掲げた歓迎、お茶会や餅つき体験などで乗船客をもてなしました。









#### ●「東京みなと祭」が開催されました!

(関東地方整備局 東京港湾事務所 特定離島港湾事務所)

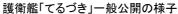
5月18日(土)と19日(日)の2日間、東京の晴海客船ターミナルで「東京みなと祭り」が開催されました。

「東京みなと祭」は、東京港が昭和16年5月20日に国際貿易港として開港したことを記念し、開港記念日である5月20日前後の土日に、東京みなと祭協議会(東京都港湾局、東京港埠頭(株)等)が開催しているイベントです。

今年は、海上自衛隊の護衛艦「てるづき」などの一般公開や様々なステージイベント、スタンプラリー等が行われ、家族連れなどたくさんの方が会場を訪れました。

関東地方整備局では、東京港湾事務所及び特定離島港湾事務所がブースを設置し、行っている事業を紹介しました。







東京消防庁によるデモンストレーションの様子



関東地方整備局ブースの様子

#### ●『新潟港 釣り文化振興促進モデル港』指定証を交付しました

(北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課)

令和元年5月27日、新潟市内のホテルにおいて、「新潟港 釣り文化振興促進モデル港 指定証交付式」を執り行いました。

国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、平成31年3月29日、全国で13港を釣り文化振興促進モデル港として指定しました。

北陸地方整備局管内では新潟港と直江津港が指定されており、この内、新潟港の指定証交付式を今回執り行ったものです(直江津港の指定証交付式は4月23日に開催済み)。

指定証は、北陸地方整備局 伊藤次長から新潟県交通政策局 田中副局長に交付され、田中副局長より「取り組みが認められて光栄だ。今後も安全安心な釣り場として、多くの人に楽しんで欲しい。」とのコメントがありました。

指定証交付式後、新潟市 中原市長、聖籠町 西脇町長、篠田 新潟港振興協会前会長、ハッピーフィッシング 有澤氏が加わり記念撮影を行いました。





モデル港指定証 交付式

記念撮影

## ●『第37回 親子のフェスティバル』を開催しました

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

令和元年5月19日(日)、敦賀港のきらめきみなと館とその周辺において、「第37回親子のフェスティバル」が開催されました。

このイベントは「海の見える緑地、豊かな自然の中で、親と子ども・仲間たち・地域の人たちと一緒に 手作りいっぱいのコーナーで思いっきり遊びふれあう」ことを目的に青少年健全育成敦賀市民会議が主 催したもので、当事務所からも、パネル展示、鳴り砂体験を実施しました。

港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海も予定していましたが、当日は強風のため、残念ながら中止となりました。

鳴り砂体験では、[キュッキュッ]と音が鳴ると「楽しい!!」と嬉しそうに親子で喜ぶ姿を見たり、「どうして音が出るの?」「汚れると音が出なくなるの?」と不思議そうに質問をしてくる声を聞くことができました。

その他、フェスティバルでは、敦賀港開港120周年を記念した海上自衛隊舞鶴音楽隊による演奏、大阪税関の監視艇や敦賀海上保安部の巡視船の一般公開、働く車(パトカー・はしご車・高所作業車)の

展示などが行われ、多くの親子で賑わいを見せていました。



鳴り砂を体験する親子



(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

令和元年5月26日(日)、兵庫県神戸市の須磨海岸(みなとオアシス須磨)にて「須磨ビーチフェスタ20 19」が開催されました。

須磨海岸は、JR須磨駅前エリアの遠浅化が完了し、みなとオアシスにも登録されました。また、今年4月には、環境教育と情報、水質、環境マネジメント、安全とサービスについて、基準を達成することによって与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得され、今まで以上に安心して海を身近に感じてもらうことが可能となりました。また夏の海水浴だけでなく、四季を通じてより多くの市民の方々に海岸を利用してもらうきっかけづくりとして、平成29年より「須磨ビーチフェスタ」が開催されています。

当日は、元ビーチバレーボール全日本選手で北京・ロンドンオリンピック出場の朝日健太郎さん(参議院議員)の挨拶や、ブルーフラッグ授与式、ビーチバレー大会や潮干狩り、ビーチ体験コーナーや、様々なグルメの祭典、ステージイベントはもちろんのこと、今回はさらにビーチラグビー大会を開催。イベント終了後はビーチクリーン(海岸のクリーン作戦)も行われ、昨年を超える約2万1千人の市民の方々に須磨海岸を楽しんでもらいました。



歓迎の挨拶の様子

写真中:元ビーチバレーボール全日本選手で北京・ロンドンオリンピック出場の朝日健太郎さん(参議院議員)

## ●かわいい園児が神戸のみなどを見学

(近畿地方整備局 神戸港湾事務所)

令和元年5月21日、神戸市立あづま幼稚園の年長園児41名が来所し、快晴のもと、神戸を象徴する「青い海」と「緑の山」に「青い空」が加わり、絶好のみなと見学日和となりました。

みなとの見学は2組に分け、事務所でのお勉強と船でのみなと巡りをそれぞれ行いましたが、お勉強は神戸築港資料館ピアしつくすでDVDを見ながら出されるクイズに園児が元気よく手を挙げて答えていました。また、港湾業務艇「いずみ II」によるみなと巡りでは、瞳をキラキラ輝かせながら、大きな貨物船や船

が飛ばす波しぶきを見つめる姿が印象的でした。船で気分が悪くなる園児もなく、無事見学を終えたことは何よりです。今回の見学を通じて神戸のみなとが少し分かってもらえたものと思っています。



神戸築港資料館ピアしつくすでのお勉強



港湾業務艇「いずみⅡ」でみなと巡り

## ●世界遺産のまち新宮(しんぐう)に「みなとオアシス」誕生

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

令和元年6月2日(日)に「みなとオアシス新宮」(和歌山県新宮市)を「みなとオアシス」として港湾局が 登録する登録証交付式を新宮港の佐野第三岸壁で行いました。

「みなとオアシス新宮」は全国で130箇所目、近畿地方では14箇所目の登録となります。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」熊野地方の海の玄関である新宮港では、近年、外国クルーズ客船の入港数が増加し、観光客への心のこもった「おもてなし」などが評価され「2018年クルーズ・オブ・イヤー(特別賞)一般社団法人日本外航客船協会主催」を受賞しています。

前日から、新宮港40周年記念行事の「新宮港みなとフェスタ」が開催されており、会場では、アンパンマンショーや新宮港を基地港とする JAMSTEC 地球深部探査船「ちきゅう」の一般公開などが行われ、あいにくの小雨模様のなか、子供からお年寄りまで、多くの市民が港に訪れ賑わいました。





「みなとオアシス新宮」登録証交付の様子





「ちきゅう」一般公開の様子

ステージイベントの様子

## ●「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会令和元年度総会」を開催

(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

令和元年5月31日(金)、山口県宇部市において「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会令和元年度総会」、「第13回瀬戸内海首長サミット」及び「瀬戸内海クルーズ推進会議合同会議」を開催しました。

第1部の総会では、「令和元年度事業計画・予算」などを提案・決議し、次期会長は、大分県佐伯市の 田中 利明市長、次期開催地も佐伯市に決定しました。

第2部の「瀬戸内海首長サミット」では、「瀬戸内・海の路の災害時相互応援の連携強化について」をテーマに参加首長による議論が行われ、「昨年の7月豪雨災害では、海上ルートの有効性を非常に強く感じた。」、「災害の備えとして、日頃からの"顔の見える連携"が必要である。」などのご意見を頂戴しました。

第3部の「瀬戸内海クルーズ推進会議合同会議」では、苅田 知英代表(中国経済連合会 会長)より 挨拶の後、「瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの基本方針(案)」を事務局から提案し、議論が行わ れました。今後、各港の目標を設定した後、誘致チームを結成し、船社へ誘致活動を進めていきます。



第13回瀬戸内海首長サミットの様子

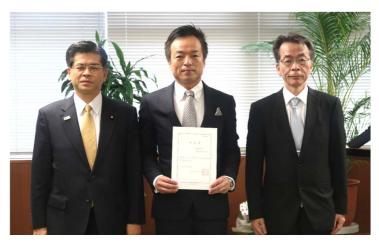


瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議の様子

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

4月22日(月)、新たに下関港が「国際旅客船拠点形成港湾」として指定され、前田晋太郎下関市長に石井国土交通大臣から指定書が交付されました。

今後、港湾管理者である下関市により「国際旅客船拠点形成計画」が策定されるとともに、同計画に基づき連携するクルーズ船社による岸壁の優先的な使用、クルーズ船社による旅客ターミナルビルの整備等に関する協定の締結など、国際クルーズ拠点の運用開始に向けた必要な取組が進められます。



関係者記念写真 (左から、石井大臣、前田下関市長、下司港湾局長)

●「オイローパ2」、「クリスタル・シンフォニー」が那覇港、石垣港に、「ダイヤモンド・プリンセス」が平良港に初寄港しました

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

ハパグロイド・クルーズ社所属のラグジュアリークラス「オイローパ2」(42,830GT)が5月13日(月)に那覇港へ、翌14日(火)に石垣港に初寄港し、両港では初寄港を歓迎するセレモニーが開催され、花東の贈呈や記念品の交換が行われました。



石垣港に初寄港した「オイローパ2」





那覇港での歓迎セレモニー

石垣港での歓迎セレモニー

クリスタル・クルーズ社所属のラグジュアリークラス「クリスタル・シンフォニー」(51, 044GT)が5月14日(火)に石垣港、翌15日(水)には那覇港に相次いで初寄港し、 両港では初寄港を歓迎するセレモニーが行われました。



那覇港に初寄港した「クリスタル・シンフォニー」



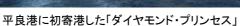
石垣港での歓迎セレモニー



那覇港での歓迎セレモニー

プリンセス・クルーズ社所属のプレミアムクラス「ダイヤモンド・プリンセス」(115,906GT)が5月14日(火)に平良港へ初寄港し、日本人を中心とした2,666名の乗客が宮古島観光を楽しみました。船内で行われた歓迎セレモニーでは花束や記念品が贈呈され、宮古島の民謡ショーで一行を歓迎しました。







歓迎セレモニー

## ●平良港においてジャケット式岸壁の据付作業が行われました

(沖縄総合事務局 平良港湾事務所)

国際クルーズ拠点形成港湾として整備が進められている平良港において、クルーズ船専用岸壁の一 部となるジャケット式岸壁の本体部分の据付作業が行われ、一部が報道陣に公開されました。本作業で は長さ60m、重さ320トンのジャケット3基を大型起重機船でつり上げ、あらかじめ海底に打ち込んだ杭 に差し込む形で設置されました。

今後はジャケット上部への床板設置や舗装などが施される他、岸壁への取り付け道路の整備など、 2020年4月の暫定供用に向けて引き続き整備が進められます。





ジャケット据付作業の様子

#### 3 お知らせ(みなとのイベント情報)

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

# ◇イベント名:**海洋都市横浜うみ博2019 ~見て、触れて、感じる海と日本 PROJECT~** 【開催日時】

令和元年7月20日(土)~7月21日(日) 午前10時~午後5時

#### 【場 所】

大さん橋ホール(大さん橋国際客船ターミナル内) 横浜市中区海岸通り1-1-4

## 【概 要】

資源開発、魚や生き物、レジャー、環境保全、船舶など多彩な海の魅力と可能性を知り、触れ、学び、海への関心や、理解が深まる、親子で楽しめる体験型イベントです。

#### 【問合せ先】

運営事務局 Tel:045-663-9151

[U R L]

http://umihaku.jp/



## ◇イベント名:四日市港開港120周年記念 四日市港まつり

#### 【開催日時】

令和元年8月3日(土)~8月4日(日)

## 【場 所】

四日市港四日市地区(千歳町)

#### 【概 要】

3日午後と4日に帆船海王丸の一般公開を実施、また4日には港湾関係団体による展示、カッターレースの開催、飲食ブースの出店等が予定されています。なお会場へは近鉄四日市駅発の無料シャトルバスをご利用下さい。

## 【問合せ先】

四日市港まつり実行委員会事務局 TEL 059-366-7022

[U R L]

http://www.yokkaichi-port.or.jp/

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631

e-mail:bcf06323@nifty.com